

川でつながる 未来につなげる情報

第1号

令和4(2022)年 ふたつの分水が通水の節目を迎えます

大河津分水通水100周年

明治40(1907)年に始まった大河津分水工事、延べ1000万人が工事で働き、その工事の難しさや大きさから「東洋一の大工事」と呼ばれ、大正11(1922)年通水しました。



関屋分水通水50周年

昭和39(1964)年に始まった関屋分水路工事、870世帯の家屋移転、新しい町が誕生するなど、多くの方々の協力を得ながら昭和47(1972)年通水しました。



自治体の皆さんと記念する事業を盛り上げていきます

通水の節目を記念する事業を実施・検討するため、関係市町村長等が委員となる「大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につながる事業実行委員会」を、大河津分水の通水から99年目となる令和3年8月25日設立しました。

各市町村長からは、今後の取組の方針等について意見交換をいただいたほか、信濃川の恵みへの感謝・川の未来を考えることの大切さについて色紙と合わせてメッセージを発信していただきました。



イベント情報

大河津分水通水100年、関屋分水通水50年を契機に治水の重要性を広く広報することを目的としてパネル展を開催中です。

会場：三条市体育文化会館（三条市荒町二丁目1番3号）

期間：令和3年8月26日(木)～令和4年3月31日(木)予定



情報を発信するホームページはこちら



大河津分水通水100周年

検索



関屋分水通水50周年

検索

マークをご利用ください！



大河津分水 通水100周年
The Ohkouzu Diversion Channel 100th Anniversary



関屋分水 通水50周年
The Sekiya Diversion Channel 50th Anniversary

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年を記念して作成したマークのご利用をお願いしています。詳しくは、ホームページを御覧下さい。

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念 未来につながる事業実行委員会

新潟市、長岡市、三条市、加茂市、見附市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、
新潟県 新潟県 新潟地域振興局、新潟県 三条地域振興局、新潟県 長岡地域振興局、
北陸地方整備局 信濃川河川事務所(事務局)、北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所(事務局)